

「肥大型心筋症患者さんの非心臓周術期管理に関する後方視的調査」

高知大学医学部老年病・循環器内科学講座と麻酔科学・集中治療医学講座では、現在、2009年以降に当院で非心臓手術をお受けになられた肥大型心筋症患者さんを対象に、周術期管理と予後についての後方視的調査を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この調査研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[\[問い合わせ窓口\]](#)までご連絡ください。

[研究概要および利用目的]

高知大学医学部老年病・循環器内科学講座と麻酔科学・集中治療医学講座では、非心臓手術を受ける肥大型心筋症患者さんが安全に手術をお受けいただけるように協力して周術期管理を行い、最善と考えられる治療を行っています。しかし、肥大型心筋症を有する患者さんでは周術期のリスクが高いと一般的に考えられておりますが、長期予後に関してはいまだ、よく分かっておりません。そこで、今回、後方視的に非心臓手術を当院でお受けになった肥大型心筋症患者さんのカルテから以下に記載したデータをいただくことで、周術期の合併症の発生率や長期予後を調査することとしました。また、同時期に同じような手術をお受けになられた患者さんの記録も調査し、肥大型心筋症患者さんの結果と比較検討させていただきます。

[取り扱うデータ]

患者さんのカルテから以下のデータを収集させていただきます。本研究の目的のためのみに検査などを行うことは一切ありません。

年齢，体重，身長，肥大型心筋症の種類と循環器合併症，手術術式，麻酔方法，術後合併症，最終外来受診日と受診日までの循環器系合併症

[個人情報保護の方法]

個人情報、検査結果などの記録、保管は第三者が直接患者さんを識別できないよう登録時に定めた登録番号を用いて行います。また得られた記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、高知大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座の鍵のかかる保管庫に保管します。

[研究参加による利益・不利益]

利益・・・本研究にデータを提供いただいた患者さん個人には特に利益と考えられるようなことはございませんが、この研究の成果によっては、今後の医療や患者さんにとって、適切な周術期管理の実施が期待できます。

不利益・・・カルテからのデータ収集のみであるため、特にありません。

[研究終了後のデータの取り扱いについて]

研究終了後には、データは、患者さん個人を特定できない状態にして廃棄します。

【研究成果の公表について】

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報が明らかになることはありません。

【研究へのデータ使用の取り止めについて】

いつでも可能です。患者さんおよびそのご家族の方が、データを本研究に用いられたいくないと考えられた際には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

なお、総合同意書でデータの利用について希望されない旨を記載いただいている場合、データの使用は行いませんので、改めてお申し出いただく必要はありません。

【問い合わせ窓口】

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身（患者さん）のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、あるいはご自身（患者さん）のデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。

高知大学医学部附属病院 集中治療部 講師 矢田部智昭

連絡先：088-880-2471